

朝日村の目指す診療所

- 1 望まれる(求められる)医療体制
- 2 診療所の経営形態と概要
- 3 経営形態による実現に向けた比較
- 4 「診療所」の初期投資
- 5 「診療所」の開設に向けた委員会の立上げ
- 6 診療所開業までのスケジュール

1 朝日村に望まれる(求められる)医療体制＝地域密着型の『診療所』

- (1) 一般診療(村民のかかりつけ医・身近な医療・初診から専門医の紹介・退院後の医療)
- (2) 高齢者への医療(慢性的な心不全、誤嚥性肺炎、認知症などの慢性疾患への対処)
- (3) 小児医療(急な発熱や体調の変化、退園・放課後の受診、乳幼児期の予防接種)
- (4) 感染症対策(発熱外来)
- (5) 在宅医療への取組み(来院できない高齢者等への往診、訪問看護との連携)
- (6) 地域包括ケアシステム(医療ケア、サービスの提供、施設の嘱託医)
- (7) フレイル予防(村介護予防事業との連携)
- (8) 村の保健事業等への協力(健康診断、学校保健、予防接種など)
- (9) 医療のICT化(電子カルテ、オンライン診療などへの取組)
- (10) 災害時の協力(災害時のトリアージ、救護所の協力)



『診療所』の経営形態は・・・



2 『診療所』の経営形態と概要

①個人開業

形態	開設者	管理者	運営	財務	概要
個人経営	本人	本人	本人	本人	<ul style="list-style-type: none"> ・開業資金の調達や経営リスクが課題となり、独立開業に消極的 ・開業するとしても来院患者が見込める都市部に集中

②村立診療所

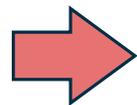
形態	開設者	管理者	運営	財務	概要
直営	村	村雇用の医師	村	村	<ul style="list-style-type: none"> ・村が運営するため人員、財務、事務、施設維持管理等全ての負担が大きくかつ継続的に発生（診療所経営、医療会計に精通した職員の雇用、処理システムの導入など） ・医師は村が雇用するため高額な給与の設定が必要
直営 (病院提携)	村	病院	病院	村	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な建物、機器設備等を村で用意し、提携した病院が医師を派遣。 ・村は病院に対して医師派遣料を支払う。 ・「直営」型と同様、村の負担が大きく、継続的に発生する
公設民営 (開業医公募)	村	開業する医師	開業する医師	開業する医師	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的なインフラ（建物、機械設備等）を村で用意し、開業医を公募する。 ・医師は資金調達リスクから解放され、事業に専念できる。 ・医師本人が経営するため「直営」型と比べ人員、財務、事務、施設維持管理等の負担が軽減

③病院の分院（又は病院そのものの進出）

形態	開設者	管理者	運営	財務	概要
病院経営	病院	病院	病院	病院	<ul style="list-style-type: none"> ・朝日村に進出する病院はまず望めない

3 経営形態による実現に向けた比較

	村民の希望	村の負担 財政・事務等 (負担が少ないほど◎)	医師の確保 (開設の誘致)	村が求める 医療の提供	開業まで要する 期間 (村の進めやすさ)	実現度
個人経営	○ 内科とは限らない	◎ 負担なし	× 見込なし	△ 開業医次第	×	× 見込なし
直営	◎	× 初期投資+毎年の経費	△ 条件次第	◎ 村雇用の医師	◎	× 実務的に困難
直営 (病院提携)	○ 医師は日替わり	× 初期投資+毎年の経費	◎ 病院からの派遣	△ 提携病院の意向	△	○
公設民営 (開業医公募)	◎	○ 初期投資+リース料	○ 公募条件次第	◎ 公募条件	◎	◎ 最も現実的
病院経営	△ 病院までは不要	◎ 財政投資不要	× 見込なし	× 病院の経営方針優先	×	× 見込なし



公設民営(開業医公募)が最も望ましい

4 『診療所』の初期投資

初期投資（診療所を開設するために必要な資金）

単位:千円

診療所(土地300坪、建物65坪) 医師住宅(25坪)を併設	160,000	【 村の負担 】
開業運転資金(初年度のみ)	15,000	
医療機器(レントゲン・エコー・心電図等)	8,800	リース
什器備品・消耗品など	3,000	開業医が用意
開業に係る諸経費(医師会入会費・火 災保険等)	8,000	
合計	194,800	

村の基金の状況
(令和4年度決算より)

	年度末現在高 (単位:千円)
財政調整基金	2,405,000
保健福祉基金	498,000
その他	359,000

※令和5年10月時点での一般的な建築単価、機器価格、リース料で試算。

※開業後の村の経常的負担はリース料（年額8,800千円）のみ。

※経年使用による建物の修繕は都度対応とし、現状での見積もりはしていない。

5 「診療所」の開設に向けた委員会の立上げ

1 開業医の公募（プロポーザル方式） ⇒ 選考委員会の立上げ

- ① 公募要件、選考基準、選考方法などの策定
（村が求める医療体制、定住要件など）
- ② 応募書類の審査、応募者の面接、選定

2 診療所の開設 ⇒ 建設委員会の立上げ

- ① 診療所、医師住宅の候補地の選定
- ② 診療所、医師住宅の設計
- ③ 医療機器の選定
- ④ 開業資金の支援 など



6 診療所開業までのスケジュール

	令和5年度						令和6年度												令和7年度																
	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3					
土地				委員会	候補地決定・建設地協議・土地購入																														
建物							設計														建設												竣工 開業		
医師 公募						委員会	公募・選定・決定						委員会																						
議会		全協			全協	予算		全協						全協			全協	予算																	